

図書館だより

第144号 2026/8・9月号
大和郡山市立図書館

今度は、名古屋へ

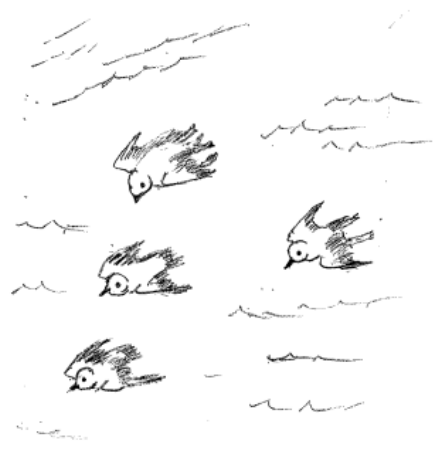
まずは、あまりに暑いので、地下鉄伏見駅近くの「貨幣・浮世絵ミュージアム」へ。現在開催中の「ターゲットは野鳥だ！羽きゅん♥」は、浮世絵に出てくる鳥の姿や鳥に因んだ作品を集めた展示です。鷺に雀、鶯もいれば雁も鷹も。いただいたチラシにある口上では、「鴛鴦（おしどり）夫婦に千鳥足、雀の涙に鶴のひと声。雁首揃えて、頂山（いただきやま）の鶯鳥（とびがらす）。どうぞ皆さま、呼子鳥！」と、とてもいさましい。江戸時代、鳥の姿がいかに身近に生活や文化に根付いていたかよくわかります。たとえば、「ふくら雀」「鴉つと」は髪のかき方、キセルの頭の部分は「雁首」。細長い徳利は「鶴首」、「がんもどき」や「落雁」「鶯餅」などもあります。浮世絵に描かれた鳥、とても風流な展示でした。おまけに過去から現在の日本と世界の貨幣の展示もあって（銀行のビルの1階にあるので。本来こちらがメインかも？）なんと無料！貨幣だけにおつりができました。

もうこれで帰ってもよいのではと思うぐらい満足しましたが、メインはこちら。現在絶賛放映中！大河ドラマ「豊臣兄弟！」兄弟の生誕地とされる名古屋市の中村公園にある大河ドラマ館へ。ここでは、物語の前半、秀吉や秀長が待になっていくところが主な展示です。入ってすぐ秀長役の仲野太賀さんの案内の映像がながれていましたが、大和郡山では吉岡里帆さんと二人で案内してくれるので、これはうちの方がお得か？比べる必要はありませんが、そんなことも思いながら館内を見て回っていると、奥には、ずらりと並んだ出演者のパネル、小一郎が暮らした家の再現など一緒に写真を撮ることもでき、ドラマの衣装や小道具など、それぞれご当地の楽しみがあります。今後展示替えもあるので機会があれば再訪もあるかも？

その夜、名古屋で夕食。となれば、以前から行ってみたい居酒屋がありました。酒場巡りでおなじみの吉田類さんや太田和彦さんも訪れた誰もが知る名店「大基本店」。太田和彦さんの著書『70 歳、これからは湯豆腐—私の方丈記』（2020 年 亜紀書房）には、「日本一の居酒屋」として紹介されています、渋い看板、お客さんの席の差配を手際よくこなし、そろばんを巧みにあやつり勘定をする店主、つつい手に取ってしまう数々の小鉢料理。ごった返した店内で大きな声でしゃべったり笑ったり、注文を叫ぶ声があつたりでとても賑やか。お店が 21 時閉店なので、ここはどこ？という状態にならず家路につけます。

さらに夜、1 階が 24 時間明りが灯る旅をテーマにした本を集めたブックショップ。2 階から上がホテルで、宿泊者は気に入った本を 2 冊まで部屋で読むことができます。「ほんなら暑い中どこもいかんと部屋でゆっくり読書してたらよかったんちゃうん」と言いたくなるくらいくつろげます。

さて朝、名古屋と言えば喫茶店。『名古屋の喫茶店 完全版』（大竹敏之著 2019 年リベラル社刊）の 1 番目「珈琲処カラス」、こちらもおなじみのTV番組「孤独のグルメ」で紹介されたそうです。で、コーヒー（コーヒーをたのめばトーストはついてくるのに）とあんトースト。これで名古屋遠征は終了。





図書館の「と」



第1回「本の甲子園」開催中！

YA コーナーでは、「本との出会いは縁である」という考えに基づきはじめられた、図書館員による新しい文学賞
第1回「本の甲子園」にエントリーされた本を展示しています。



本の甲子園とは、全国 47 都道府県を代表する本、47 冊が一堂に会し、日本一を決めるトーナメント戦です。
大賞作品は、地元作家による作品で日本の小説から代表となる 1 冊を選考、各対戦はランダムに選ばれた
5 名の図書館員の投票により決定。47 都道府県の頂点に輝く 1 冊は、2026 年 10 月に決定します。

(エントリーがないところ、人口が多く対象の作家の方が多いところは複数エントリーの場合もあります。)

発起人である今村翔吾さんが図書館と書店の連携、作家と地域の結びつき、各地での文化振興の一助になれば
という思いではじめられた賞です。

ちなみに、本館の図書館員も選考委員の一人として、鋭意選考中。どの地域が優勝するか投票もやっています！

図書館が選ぶ47の物語、今ここで一堂に会す。

本の甲子園 第1回

「本の甲子園」は、全国 47 都道府県を代表する本が一堂に会する文学賞です。
地元作家による小説の中から、全国の図書館員が各都道府県の代表作品を選び、トーナメント形式で競い合います。

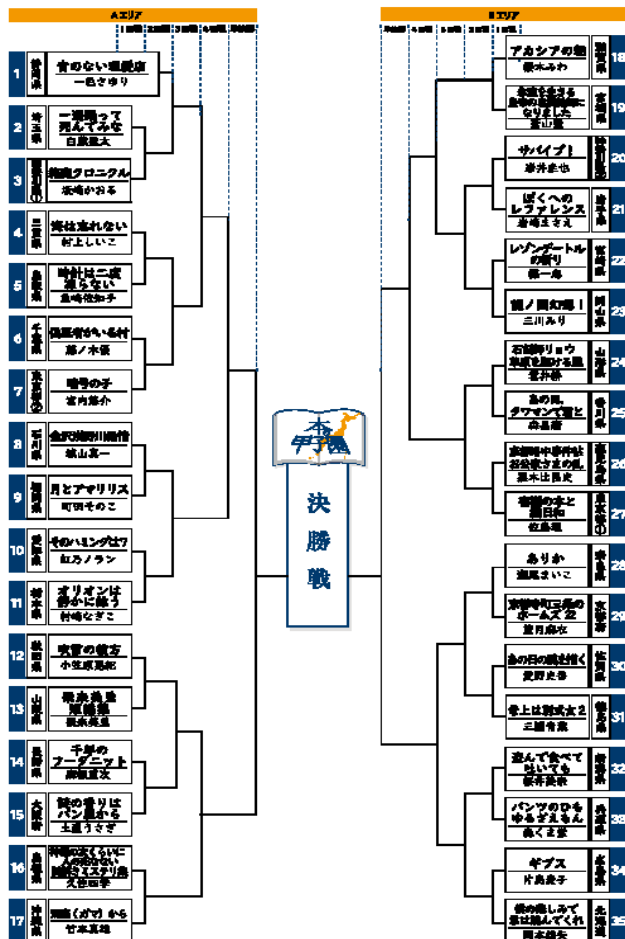
トーナメント戦 実施期間 2026 年 6 月 22 日(月) ~ 10 月 5 日(月)

決勝イベント 開催日 2026 年 10 月 5 日(月) 会場：大本山 石山寺(滋賀県八幡)

トーナメント戦 決勝はここから

トーナメント戦を勝ち抜いた 1 冊が、大賞作品に選ばれます

市販：一般社団法人 カン・ライ 共編：株式会社図書館流通センター/日本出版元株式会社
後援：一般財団法人出版文化事業振興財団、公益財団法人読書推進協議会、日本出版元株式会社、公益財団法人日本図書館協会



かくれた1冊♪ 司書のおすすめ本

『灯台を読む』（分類 557）

文藝春秋

門井慶喜／澤田瞳子／阿部智里／川越宗一／永井紗耶子／安部龍太郎 著

海の無い奈良県民の私が、灯台の本を手にとったのは阿部智里さん（『烏に単衣は似合わない』の作者、こちらもおすすめ）が書かれていたことがきっかけでした。この本は6人の錚々たる作家が日本全国の美しい灯台を訪れ、その土地の歴史や文化、原風景を文学的な視点で綴った紀行文です。

灯台の父ともいわれるブラントンとラフカディオ・ハーンとの対比や、灯台のレンズ室を「光の洪水」、大きなフレネルレンズを「ファンタジーで出てくる魔法の道具じゃん」と表現するなど、その作家ならではの視点が楽しめます。灯台の魅力をさまざまな角度から知ることができ、この夏は海へ行って実際に灯台を見てみたい、そんな気もちにさせてくれる一冊です。



（司書 K）

『ひみつのたからもの』（分類 Eヒ）／『ほしぞらのたからもの』（分類 Eホ）

BL出版 豊福まきこ/著

ぼくにはひみつがある。

それは、さかながだいすきなんだ。でも、たべたいわけじゃない。かわいくてだいすきなんだ。これがぼくのひみつ。

でも、だれかにみせたいなあ。

あるひ、みんなにやまへことりをつかまえにいこうとさそわれた。そのとき、しましまのネコが「おれ、いかない」そういつてうしろをむいてはなれていった。

ぼくは、どうしてもきになって、あとをおいかけた。

おなじひみつをもった はじめてのおともだちの おはなし。



（職員 S）

8月～9月の催し案内

だっこでおはなし会

場所:集会展示室

～赤ちゃんや絵本やわらべうたを楽しみましょう～

8/13(木)・8/30(日)

◆10時30分～11時頃

9/10(木)・9/23(水・祝)

(対象)0歳から3歳くらいのお子様とその保護者の方

えほんひろば

場所:おはなしのへや

～えほんの読みきかせや手遊びなど～

8/8(土)・9/12(土)

◆14時～14時30分頃

8/22(土)・9/26(土)

◆11時～11時30分頃

(対象) どなたでもどうぞ

かみしばい劇場

場所:集会展示室

～昔話や季節の紙しばい～

8/1(土)・8/23(日)

◆14時～14時30分頃

9/5(土)・9/27(日)

(対象) どなたでもどうぞ

夏のおはなしの杜

場所:集会展示室

～ろうそくのあかりでおはなしを語ります～

8/22(土)

◆17時30分～17時50分 (対象) 4歳～大人

◆18時～18時30分 (対象) 小学生～大人

夏休み講座「世界が注目！大和郡山の金魚」

場所:集会展示室

8/9(日)

◆14時～

(対象) どなたでもどうぞ

※HP、電話、窓口で申込可 先着30人



おはなしの杜

場所:集会展示室

9/6(日)

◆11時～11時30分頃

(対象)4歳～小学生

ビブリオバトル

場所:集会展示室

9/13(日)

◆14時～15時30分頃

テーマ「宇宙」

おすすめの本を、参加者それぞれが5分で紹介。

開館25周年記念イベント うた絵本Live Caravan

場所:やまと郡山城ホール レセプションホール

9/19(土)

◆13時30分～

(対象) どなたでもどうぞ

要申込 先着100人



★9/5(土) から
受付開始します。



カレンダー

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

開館時間 9:30～19:00

は休館日です。

図書館HP(利用案内・お知らせなど)



蔵書検索・予約



電子図書館(電子書籍の貸出・閲覧)



Yamatokoriyama City Web-Library
大和郡山市電子図書館